

平成25年度 (公財) JKA補助事業の自己評価結果について

平成25年10月10日、「薬物乱用防止パンフレット」の作成事業について、全国防犯協会連合会において自己評価委員会を開催しましたので、その結果をお知らせいたします。

本事業のパンフレットは、近年、覚醒剤の検挙者が多く、また、薬物乱用事犯が若年層にまで広がっている状況に対し、これを防止するために広報啓発活動を行い、薬物乱用防止の規範意識の醸成を図る必要があるとして作成したものです。

その為、本パンフレットは若年層が見ても理解しやすいように、イラストや写真を多く掲載し、また、若年層が手を出しやすい「脱法ハーブ」や「大麻」についてパンフレットの巻頭に掲載、薬物被害者の手記に比較的若い方のものを掲載するなど構成に工夫をこらし、このパンフレットを見た若年層に「自分には関係ない、と思わせない」ようにしました。

これらの、若年層にも容易に理解出来るようにした構成などが本事業における新規性であるといえます。

このパンフレットは10万部を作成し、都道府県防犯協会へ配付したものであり、そこから地区防犯協会などで活用されることで、若年層をはじめとする地域住民に薬物被害の実態を知ってもらうものであるが、本パンフレットの分かりやすい構成は、そのような広報啓発活動の助けになると評価致しました。

このように活用されることで薬物乱用被害防止の規範意識が高まり、薬物乱用のない社会環境づくりに繋がっていくことが期待できるものですが、実際に効果をあげるためには、地区防犯協会等で講習会などが開催されることが必要であり、また、そこでの反響や意見などを確認する事が必要であると判断したものです。

(公財) 全国防犯協会連合会 業務第一課